

平成29年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)2

クラスCD	ニ-329	開講日	8月28日(月)AM
対象職種	教諭		
講習科目名	技術科の指導と評価①	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	大西 有 (おおにし たもつ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5
講習内容	<p>中学校技術・家庭科技術分野の内容を中心に、目標を実現するための学習指導と評価について、新しい学習指導要領の趣旨、内容も含め、高等学校工業科、情報科との関連を踏まえて概説する。</p> <p>1)技術分野の目標を実現するための学習指導と評価の関係について概説する。</p> <p>2)技術分野の学習内容と工業科・情報科教育との関連について概説する。</p> <p>3)技術分野の授業づくりについて概説する。</p> <p>4)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>1)社会の変化に対応した学習指導の在り方を理解する。</p> <p>2)学習指導要領の改訂の意図を理解する。</p> <p>3)目標を実現するための指導と評価の関係について理解する。</p>		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名	技術科の指導と評価②	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	工藤 雄司 (くどう ゆうじ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5
講習内容	<p>技術科、工業科、情報科における学習指導と評価などについて、新学習指導要領の内容をふまえて解説する。</p> <p>1)技術科教育と工業科教育と情報科教育の関連を概説する。</p> <p>2)学習指導要領改訂の経緯と意図を概説する。</p> <p>3)技術科・工業科・情報科教育における学習指導と評価について概説する。</p> <p>4)学習指導と評価を一体化させた授業の構想について概説する。</p> <p>5)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>1)社会の変化に対応した学習指導の在り方を理解する。</p> <p>2)学習指導要領改訂の意図を理解する。</p> <p>3)指導と評価の関係について理解する。</p>		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(技術・工業・情報コース)2

クラスCD	ニ-329	開講日	8月28日(月)PM
対象職種	教諭		
講習科目名	栽培とものづくり	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	大西 有 (おおにし たもつ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5
講習内容	<p>学習指導要領の趣旨を踏まえ、中学校技術・家庭科技術分野「C 生物育成に関する技術」の目標の実現を図る指導と評価について解説する。</p> <p>(1) 生物の生育環境と育成技術について</p> <p>(2) 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育について</p> <p>(3) 生物育成に関する技術にかかわる倫理観や新しい発想を生み出し活用しようとする態度を育成する指導について</p>		
到達目標	(1)～(3)の内容及び具体的な指導方法について理解する。		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配付します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名	情報とものづくり	講習の形態	講義・演習・実習
担当講師名(ふりがな)	工藤 雄司 (くどう ゆうじ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(技術・工業・情報)	担当時間	1.5
講習内容	<p>1)D 情報に関する技術について概説する。</p> <p>2)情報通信ネットワークと情報モラルについて。</p> <p>3)デジタル作品の設計・製作について。</p> <p>4)プログラムによる計測・制御について。</p> <p>5)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>1)D 情報に関する技術についての概要を理解する。</p> <p>2)情報通信ネットワークと情報モラルについて理解する。</p> <p>3)デジタル作品の設計・製作について理解する。</p> <p>4)プログラムによる計測・制御について理解する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配付します。課題などを持ち帰りたい方はUSBメモリをお持ちください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(家庭コース)2

クラスCD	ニ-330	開講日	8月28日(月)AM
対象職種	教諭		
講習科目名	持続可能な社会の担い手を育む 家庭科の課題と新展開	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	佐藤 裕紀子(さとう ゆきこ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(家庭)	担当時間	3
講習内容	家庭経営をめぐる現代的な課題について学ぶとともに、それをふまえた家族・家庭生活領域の指導について概説する。また、キャリア教育に対する家庭科としてのアプローチの仕方についても紹介する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭経営をめぐる現代的課題を理解し、説明することができる。 ・家庭科の家庭経営領域における指導の視点を理解し、説明することができる。 ・キャリア教育に対する家庭科としてのアプローチの仕方を理解し、説明することができる。 		
受講者への 事前連絡事項	講習で使用する資料は当日配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

クラスCD	ニ-330	開講日	8月28日(月)PM
対象職種	小・中・高教諭(家庭)		
講習科目名	サステイナブル時代の住まいを考える	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	乾 康代(いぬい やすよ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(家庭)	担当時間	3
講習内容	家庭科の教科指導、生徒指導、教育内容の充実を目指すこの講習は、「①持続可能な時代の住まい、②安全と災害防止をテーマとした簡単な住宅模型の製作と実験について」受講する。		
到達目標	持続可能な時代における住まいのあり方および、安全と災害防止に関する理解を深め、授業の組み立て、学校の環境管理、防災に役立てることができる。		
受講者への 事前連絡事項	住宅模型製作のために、カッター、定規、カッティングマット(または古紙、古新聞)、両面テープ、ゼムクリップ6個、ゴミ袋(小さなレジ袋など)		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(特別支援教育コース)3

クラスCD	ニ-331	開講日	8月28日(月)
対象職種	教諭		
講習科目名	インクルーシブ教育の理念と動向	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	荒川 智 (あらかわ さとし)	所 属	教育学部
主な受講対象者	特別支援学校教諭	担当時間	6
講習内容	<p>1)インクルーシブ教育の基本的な理念と動向について解説する。 2)障害者権利条約の教育条項と文科省のインクルーシブ教育システムについて検討する。 3)インクルーシブな学級・学校づくり・地域づくりに向けた先駆的な実践について紹介する。 4)インクルーシブ教育の観点から現行特別支援教育の制度・政策を検討する。 5)認定のための小論:講義の内容と自分の考えをまとめる。</p>		
到達目標	<p>1)インクルーシブ教育の基本的な考え方について理解し、周囲にわかりやすく説明できる。 2)インクルーシブ教育の構築に向けて、どのような実践ができるか考える。</p>		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配布。参考図書:荒川智・越野和之『インクルーシブ教育の本質を探る』全国障害者問題研究会出版部(試験持ち込み可)		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(道徳・特別活動コース)2

※この講習を受講する方は ニ-113 を受講することができません。

クラスCD	ニ-333	開講日	8月28日(月)
対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭		
講習科目名	特別活動の課題と実践	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	杉本 憲子 (すぎもと のりこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	幼稚園教諭を除く全教員	担当時間	6
講習内容	<p>今日の児童・生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえ、特別活動のもつ今日的意義や役割を理解するとともに、特別活動の実践をより充実したものとするための学習活動・指導方法、学校組織全体として特別活動の実践の充実を図る上で求められる点等について検討する。</p> <p>(1)特別活動の今日的意義と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における人間形成のあり方と課題 ・特別活動の今日的意義と実践的課題 <p>(2)特別活動の実践の充実に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践の充実を図る学習活動・指導方法 ・特別活動の運営・実施体制の充実 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の心身の発達や現代における人間形成のあり方、学習指導要領の要点等を踏まえて、特別活動の今日的意義を理解することができる。 ・特別活動の実践上の課題を理解し、その充実のための内容・方法等について検討することができる。 		
受講者への事前連絡事項	講習で使用する資料については、適宜プリントを配布します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用了資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(幼稚園コース)2

※この講習を受講する方は ニ-234 を受講することができません。

クラスCD	ニ-334	開講日	8月28日(月)
対象職種	教諭		
講習科目名	思春期までを見据えた幼児教育と新しい保育の可能性	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	幼稚園教諭	担当時間	6
講習内容	<p>幼児教育を発達の良いスパンのなかでとらえなおし、これから求められる幼児教育の可能性について検討する。単なる講義ではなく演習を取り入れた研修にしたい。午前中の授業では、思春期に現れる問題行動の理解をとおして、幼児期に何を大切にしなければいけないのか考える。午後の授業では、具体的な保育事例や保育記録を検討することにより、どのような実践が求められているのかを考える。</p> <p>(1)教師に求められる子どもを社会化する眼差しとその限界 (2)いい子の危険と自尊感情を育てることの大切さ (3)子どもの攻撃性や移行対象物について考える (4)保育にとって環境とは何か (5)親であることの難しさ:保護者支援について考える。 (6)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1)思春期までの子どもの成長を見通すことによって、保育において何を大切にしたらいいのかを理解する。 (2)子どもや保護者を表面的に理解するのではなく、深く理解できるようになる。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(養護教諭コース)2

クラスCD	ニ-335	開講日	8月28日(月)AM
対象職種	養護教諭		
講習科目名	養護教諭が行う研究のまとめと発表の方法	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	廣原 紀恵(ひろはら としえ)	所属	教育学部
主な受講対象者	養護教諭	担当時間	3
講習内容	保健体育審議会等において、養護教諭に求められる質と能力として7つの項目が挙げられている。その一つに「研究能力」がある。そこで、科学的手法に基づき研究に取り組む方法、結果をまとめ、提示する方法を概説する。研究論文の評価の仕方などについても論じ、実際に行う。		
到達目標	研究の進め方を知り、研究目的にあった研究方法の選択、決定ができる。クリティークの意義やプレゼンテーションのポイントを理解する。		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

クラスCD	ニ-335	開講日	8月28日(月)PM
対象職種	養護教諭		
講習科目名	学校保健の組織活動と関係機関の連携	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	瀧澤 利行(たきざわ としゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	養護教諭	担当時間	3
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題を抱える子どもに対応しなければならない今日の学校保健が、経営学的組織行動論からみた場合にどのような特徴と課題をもっているかを分析することにより、養護教諭として主体的に学校経営に関わりながら学校保健を展開していくための方策を検討することを内容とする。 ・組織としての学校の目標、学校という組織の性格、職員としてのモチベーション、リーダーシップ、フォロアーシップ、キャリア形成、ネゴシエーション、組織文化、組織学習等についての概念と実際を企業の例に学びながら、学校への適用を検討する。 ・こうした組織行動論をもとに学校保健的諸課題を進めていくための学校組織のあり方について検討を深めていく。 		
到達目標	自らのこれまでの活動を振り返り、学校保健の推進にあたって、家庭や地域との連携をどのようにすすめてきたかを考察することができる。また、今後の取り組みにおいて、子どもの健康生活の目標の立て方、学校や地域の環境整備のすすめ方が理解できる。		
受講者への事前連絡事項	特になし。自分のこれまでの取り組みについて簡単な紹介ができるようにしておくことが望ましい。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。